

社会人のための情報システム誌
— 経営近代化のシステム研究 —

Computer Report

10

2018 No.769

3 はじめの言葉

4 常に問われてきた

コンピュータ現場の在り方

田原文夫

コンピュータ活用の現場に常に付きまとうのは、何のためのコンピュータ導入かの命題確認である。それは黎明期から成熟した今日にいたるも不変のテーゼである。同時に、コンピュータ化を担うシステム部門の位置づけそのものも問われてきた。システム部門はスタッフかラインかというテーゼに代表されるものだが、単なるコンピュータ導入、機械化であってはならないとされてきたのだ。

10 情報社会を考える その97

情報社会作りに、どう関与し、どう貢献していくか

編集部

データ改竄／隠蔽の原点

どこまで明らかになってくるのか。自動車業界における様々な品質／性能基礎データの不正データの改竄実態である。文字通り、ユーザーの声明に直結している問題である。であるか故に、国土交通省／通商産業省という国家の行政機関が監視し、必要な指導をしてきている。正確には、必要な行政指導をしてきているはずだった。そうした行政指導能力の施行をもって、トップ官僚たちは「国を動かしている」と自覚し、実感してきているはずだ。ところがである、その行政指導が全く機能していなかったことが、様々な現場で、次々と明らかになってきている。

12 デジタルガバメント DG8

デジタル政府の展開 その9

水田 浩

デジタル化は人々の生活の質を向上させる。2018年1月16日に日本政府もデジタルガバメント実行計画をeガバメント閣僚会議で決定した。この計画は、28年1月16日から2023年3月31日までの計画である。2018年上半期を目途に各府省庁における中長期の戦略的な計画を策定をする。電子政府はICTを使って政府側から国民に行政サービスをより早く、より安く、より良くするのが目的だがデジタルガバメントは顧客(国民、企業、職員)側から政府の行政サービスを探し易く、繋がりがやすく、何時でも何処からでも誰でも使えることを目的としている。

1 8 連載 アーキテクチャ論 (90)

DX2025 への取組み

山本修一郎

国立大学法人 名古屋大学 大学院 情報学研究科 教授

経産省が DX(デジタルトランスフォーメーション)レポート[1]を 2018 年 9 月日に発表した。筆者は「デジタルトランスフォーメーションに向けた研究会」に委員として参加するとともに、その WG の座長としてこのレポートの作成に携わった。

本稿では、まず、ArchiMate でビジネスプロセスを記述する方法を説明する。次いで、例題に対してビジネスプロセスを作成できることを具体的に紹介する。

2 3 連載 情報システム考

企業情報システムの変遷と行方 第 13 回

Dr.ベスト

昨今、クラウド、ビッグデータ、AIなどをベースとした情報システムが社会的規模で普及する中、それらのシステムを各企業規模すなわち自社(社員)レベルでコントロールできない状況へと進展している。換言すれば、「情報システムのコントロール不可、すなわちアウトソーシング依存現象」である。企業にとって情報システムは、企業の神経/血液そのものであり、コンサルタントや弁護士に限定された範囲での業務を委託したり、物流や警備をアウトソーシングするような対象のものではないはずである。

3 0 IT 新時代とパラダイム・シフト

第 107 回 デジタルフォレンジック (DF) を

データ改竄事件に役立てるためには

根本忠明

今年 2018 年は、政府/行政、民間大手企業の間でデータ/文書改竄が相次ぎ、大きな政治/社会問題に発展した。パソコンやメールに保存されるデータ/文書改竄には、デジタルフォレンジック(電子鑑識)が不可欠で、民間レベルでは 2010 年代に入り成果を上げてきた。しかし、政治スキャンダル化したモリカケ問題では、成果が上げられなかった。デジタル時代に相応しい公文書管理の法的整備と体制作りが、急務になっている。

3 3 続インテリジェンスへのいざない 104

貴乃花親方の角界引退での

インテリジェンス創造のススメ

今井 武

貴乃花親方が角界を引退という記者会見があった。一人の OB カ士の去就/動静が、これほど影響を及ぼす例はない。いまだに日本中にファンを持つ相撲人の証明である。日本相撲の伝統は、いわゆる「若貴時代」で終わったと考える相撲ファン(正確には元ファン)は意外に多い。貴乃花親方引退情報をもとにインテリジェンス情報創造をおススメする次第である。

3 6 連載 続 語録(ごろく) 3 0

すぎやまちヒロ

本誌ホームページをご覧ください。

セミナー／講演会の講師紹介

ユーザー会/各種研究会/勉強会における
セミナー/講演会での講師をご紹介します。

クラウドサービス導入前のチェックポイント

クラウドサービスは果たしてTCO削減に寄与するか

レガシーマイグレーションの進め方と留意点

これからの企業情報システム構築のポイント

これからの金融情報システムの課題

役に立つ情報管理の実践と課題

情報セキュリティ監査の受け方／臨み方

リポジトリベースのシステム資源管理

その他 クラウドサービス導入にお悩みの方

など 各種コンサルティングも承ります

ご質問／何でも相談は下記まで
株式会社 日本経営科学研究所
ComputerReport編集部

cr-info@jmsi.co.jp

CR 選書のご案内

CR選書

改訂版 データ・ウェアハウス

定価 本体 2,800円＋税 送料(〒3000) 440円 3940円
A4版 294頁
石井 義典 著
(株) 日本経済科学研究所 発行

目次

第一章 140年を振り返るデータ	第七章 情報システム部門から望むデータウェアハウス
第二章 データベースとデータウェアハウスの関係	第八章 データウェアハウスの構築とデータ移行ツール
第三章 OLAP用のデータウェアハウス	第九章 データウェアハウスの構築とエン지니어ツール
第四章 リレーショナルモデルとOLAP、リレーショナルモデル	第十章 データウェアハウスの保守とオートメーション
第五章 非関係的構成品とデータウェアハウス	
第六章 データウェアハウス管理システム	

お申し込み/お問い合わせは cr-sale@jmsi.co.jp

CR選書

消費者行動論

定価 本体 1,800円＋税 送料(〒3000) 440円 2240円
A4版 194頁
田原 文夫 著
(株) 日本経済科学研究所 発行

目次

第一章 消費者行動論	第四章 消費者意識決定
第二章 消費者行動と心理的決定要因	第五章 消費者行動とウェブ
第三章 消費者行動と社会的決定要因	第六章 人間であること(人間の行動プロセス)

お申し込み/お問い合わせは cr-sale@jmsi.co.jp

実践データ・ウェアハウス OLAP

定価 本体 1,800円＋税 送料(〒3000) 440円 2240円
A4版 294頁
豊島 一政・木村 賢 共著
(株) 日本経済科学研究所 発行

目次

第一章 これまでのOLAPでなかったこと	第七章 多次元データベースを見る
第二章 OLAPの発展	第八章 多次元データベースの構築
第三章 OLAP基土となるOLAPソフトウェアの評価ツール	第九章 多次元データベースとアプリケーション
第四章 分析基盤の進化	第十章 OLAP/データベースとBI/BIエンジ
第五章 OLAP/多次元データベースの設計	第十一章 OLAP/アプリケーション/パッケージ
第六章 データウェアハウスとOLAP	

お申し込み/お問い合わせは cr-sale@jmsi.co.jp

shin 研究誌情報書店

インターネットセキュリティの 落とし穴

一橋大学教授 安田 聖 監修
aism情報セキュリティ・マシナリ研究会 著
定価 本体 1,800円＋税 送料(〒3000) 440円 2240円
A4版 194頁

目次

第一章 高度化・多様化するセキュリティの現状と課題	第十一章 高度化・多様化するセキュリティの現状と課題
第二章 高度化・多様化するセキュリティの現状と課題	第十二章 高度化・多様化するセキュリティの現状と課題
第三章 高度化・多様化するセキュリティの現状と課題	第十三章 高度化・多様化するセキュリティの現状と課題
第四章 高度化・多様化するセキュリティの現状と課題	第十四章 高度化・多様化するセキュリティの現状と課題
第五章 高度化・多様化するセキュリティの現状と課題	第十五章 高度化・多様化するセキュリティの現状と課題
第六章 高度化・多様化するセキュリティの現状と課題	第十六章 高度化・多様化するセキュリティの現状と課題
第七章 高度化・多様化するセキュリティの現状と課題	第十七章 高度化・多様化するセキュリティの現状と課題
第八章 高度化・多様化するセキュリティの現状と課題	第十八章 高度化・多様化するセキュリティの現状と課題
第九章 高度化・多様化するセキュリティの現状と課題	

お申し込み/お問い合わせは cr-sale@jmsi.co.jp

CR選書

エンタープライズ情報システム設計の基本書！ トップ主導の 情報システム革新

定価 本体 2,800円＋税 送料(〒3000) 440円 3240円
A4版 214頁
高田 順重 著
(株) 日本経済科学研究所 発行

目次

第一章 情報システム設計の重要性と今日の課題	第五章 情報システム設計の重要性と今日の課題
第二章 経営戦略と情報システム	第六章 情報システム設計の重要性と今日の課題
第三章 経営戦略と情報システム	第七章 情報システム設計の重要性と今日の課題
第四章 トップ主導の情報システム設計	第八章 情報システム設計の重要性と今日の課題

お申し込み/お問い合わせは cr-sale@jmsi.co.jp

CR選書

『いざ！というときの得広報』 すぐに役立つ実践117カ条

定価 本体 1,400円＋税 送料(〒3000) 440円 1840円
A4版 294頁
加藤 洋一 著
(株) 日本経済科学研究所 発行

目次

■ 広報の目的と効果の測定	■ 効果測定の方法
■ コミュニケーションの構築	■ 守るべき情報と公開の範囲
■ 最新情報と信頼性をチェックする	■ 成功のための実践117カ条(事例集)
■ 記事の材料(ネタ)とネタの探し方	■ 成功のための実践117カ条(事例集)

お申し込み/お問い合わせは cr-sale@jmsi.co.jp

計量モデルの構造と解法 —オーダーリングとスパース—

定価 本体 1,800円＋税 送料(〒3000) 440円 2240円
A4版 294頁
安田 聖 著
(株) 日本経済科学研究所 発行

目次

第一部 計量モデル	第二部 大規模モデルの効率的解法
第一章 計量モデルと計量モデルの解法と解法	第三章 計量モデルの解法と解法
第二章 計量モデルの解法と解法	第四章 計量モデルの解法と解法
第三章 計量モデルの解法と解法	第五章 計量モデルの解法と解法
第四章 計量モデルの解法と解法	第六章 計量モデルの解法と解法
第五章 計量モデルの解法と解法	第七章 計量モデルの解法と解法
第六章 計量モデルの解法と解法	第八章 スパース

お申し込み/お問い合わせは cr-sale@jmsi.co.jp

ザ・ワールドリンク がんばれ、国際グローバルリーダー AI時代に選んだ国際情報システム時代の戦術

定価 本体 1,800円＋税 送料(〒3000) 440円 2240円
A4版 294頁
迫 忠幸・湯浅 誠 共著
(株) 日本経済科学研究所 発行

目次

第一章 序論	第十一章 国際情報システム時代の戦術
第二章 国際情報システム時代の戦術	第十二章 国際情報システム時代の戦術
第三章 国際情報システム時代の戦術	第十三章 国際情報システム時代の戦術
第四章 国際情報システム時代の戦術	第十四章 国際情報システム時代の戦術
第五章 国際情報システム時代の戦術	第十五章 国際情報システム時代の戦術
第六章 国際情報システム時代の戦術	第十六章 ユーザー体験
第七章 国際情報システム時代の戦術	第十七章 国際情報システム時代の戦術
第八章 国際情報システム時代の戦術	第十八章 国際情報システム時代の戦術
第九章 国際情報システム時代の戦術	第十九章 国際情報システム時代の戦術
第十章 国際情報システム時代の戦術	第二十章 国際情報システム時代の戦術

お申し込み/お問い合わせは cr-sale@jmsi.co.jp